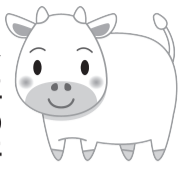


発行 桐生山鳳仙寺
桐生市梅田町一丁目五八
電話(0277)311177
FAX(0277)401600

お正月を迎えて「丑年」

新年あけましておめでとうございます。住職 坪井良廣



丑(うし)年の干支

牛は昔から食料としてだけでなく、農作業や物を運ぶときの労働力として、人間の生活に欠かせない動物でした。勤勉によく働く姿が「誠実さ」を象徴し、身近にいる縁起の良い動物として十二支に加えられたようです。

また「紐」という漢字に「丑」の字が使われおり、「結ぶ」や「つかむ」などの意味を込めたとも考えられています。

牛は神様？

牛は昔から食料としてだけでなく、農作業や物を運ぶときの労働力として、人間の生活に欠かせない動物でした。勤勉によく働く姿が「誠実さ」を象徴し、身近にいる縁起の良い動物として十二支に加えられたようです。

第29回 「写経の会」のご案内

写経の会開催のご案内です。鳳仙寺では年2回行っている恒例の行事です。開催日である2月15日は、涅槃会(ねはんえ)です。

涅槃会とはお釈迦様が お亡くなりになった日です。当日は、涅槃会の法要を行った後に、写経を行う予定です。写仏のお手本もいくつか用意しました。ぜひ皆さまのご参加をお待ちしております。

加をお待ちしております。

日時：令和3年2月15日(月) 13時より
人数：20名くらい
※鳳仙寺婦人会の皆さまも一緒に参加します。

参加費：1000円
持参品 小筆(または、筆ペンでも可)・ブロンペン(半紙)・写経用紙(半紙)・手本、簡易硯、墨汁は用意いたします。

お申し込み・お問い合わせは
電話 0277-32-1177
FAX 0277-40-6000

令和3年 年回表

1周忌	令和2年	-2020
3周忌	平成31年	-2019
7周忌	平成27年	-2015
13周忌	平成21年	-2009
17周忌	平成17年	-2005
23周忌	平成11年	-1999
25周忌	平成9年	-1997
27周忌	平成7年	-1995
33周忌	平成元年	-1989
37周忌	昭和60年	-1985
43周忌	昭和54年	-1979
47周忌	昭和50年	-1975
50周忌	昭和47年	-1972
70周忌	昭和27年	-1952
100周忌	大正11年	-1922

秋葉三尺坊大祭が開催されました



10月16日毎年恒例の秋葉三尺坊大祭(あきばさんしゃくぼうたいさ)が開催されました。例年は常盤殿にて開催をしておりましたが、新型コロナウイルスが蔓延している状況下で常盤殿では狭いので、今年度は本堂にて開催をしました。開催にあたり中止をするか迷いましたが、しっかりと対策をとり換気をしながら開催をすることにいたしました。秋葉三尺坊様に新型コロナウイルスの早期収束もご祈願いたしました。

「ほほえみ仏教室」に参加させていただきました

鳳仙婦人会 春山 雅子

曹洞宗関東管区教化センターに於いて、仏教のお勉強会が有ることを知り、平成27年度から鳳仙婦人会の福澤さんや何人かの会員の方々と参加させていただく機会を得させていただきました。今までは、お寺でお経を聞いていてもそのお経の意味もわからず、ただただありがたいものと感じていた程度のご感想でした。

平成27年度はじめて講義を受けさせていただきました。また、教化センター北

した。参加させていただく講座はどれも大変な学びをいただくのですが、とりわけ初参加年度の講座はどれも印象深く残っております。長野県 常圓寺住職 角田泰隆先生の「相承く積尊から道元禅師へ」「相承く道元禅師から瑩山禅師・峨山禅師へ」の2回の講座から積尊様の教えを学ぶ学問や曹洞宗とはどのようなものであるのかなどを学びました。

また、教化センター北

この世に生を受けた喜びを、改めて感じ感謝する。これからは、残された人生を慈悲の心で送らせていただこうと思っております。

賀正

住職	坪井 良廣
副住職・会計	坪井 良樹
筆頭総代	石原 竹雄
総代	田島 輝雄
総代	天笠 勝美
総代	内野 正章
会計監査	岩崎 岑生

世話人	板倉 秀夫	小滝 和貴	堤 和由
	岩崎 親道	小林 當二	根岸 一二
	梅澤 誠	小林 詔一	羽田野 孝栄
	大里 政由	小林 満寛	廣神 重子
	大澤 淳一	五味 田博	平方 佳介
	小此木 久四郎	清水 洋	前原 美佐保
	金居 成治	田嶋 愛子	茂木 邦武
	金丸 由太郎	中村 清	吉田 節子
	金子 宗吉	館 盛治	

「あいいうえお願」

『除夜の鐘』を撞いで 今年の厄払いをしましょー！

ご祈禱は、一時間間隔で受け付けております。

除夜の鐘

12月31日は、毎年恒例の「除夜の鐘」を行います。撞き始めは11時30分頃を予定しています。古いお札や縁起物・お守りは、境内にてお炊き上げをいたしますのでこの機会にご持参ください。

新春厄除ご祈禱

元日より4日まで毎日、新春のご祈禱を行っています。時間は、朝9時半～午後4時頃まで。1時間おきに随時申し込められます。年の初めに、厄を払い素晴らしい一年のスタートと成りますようご祈願をお勧めしております。

主な願目は、厄除開運、大願成就、方位消除、福徳開運、家門繁栄、善星皆来、悪星退散、家内安全、商売繁盛、社運隆昌、交通安全、諸病平癒、無病息災、安産祈願、合格祈願、諸願成就など。

寒いので、暖かい服装

令和3年 厄年表		
前厄	本厄	後厄
男		
60歳 <small>昭和37年生</small>	61歳 <small>昭和36年生</small>	62歳 <small>昭和35年生</small>
41歳 <small>昭和58年生</small>	42歳 <small>昭和55年生</small>	43歳 <small>昭和54年生</small>
24歳 <small>平成10年</small>	25歳 <small>平成9年</small>	26歳 <small>平成8年</small>
女		
60歳 <small>昭和37年生</small>	61歳 <small>昭和36年生</small>	62歳 <small>昭和35年生</small>
36歳 <small>昭和81年生</small>	37歳 <small>昭和60年生</small>	38歳 <small>昭和59年生</small>
32歳 <small>平成2年生</small>	33歳 <small>平成元年生</small>	34歳 <small>昭和63年生</small>
18歳 <small>平成16年</small>	19歳 <small>平成15年</small>	20歳 <small>平成14年</small>

尚、この表は満年齢に一歳を加えた数え年です。



薬壺(やっこ)

また、コロナの感染者数の推移は、第一波、第二波と感染者数が増えて一旦、落ち着きだしたかと思つと、ちよつとした人々の油断が再び状況を悪化させてしまっています。だ

はみせつコロナム(副住職)

二〇二〇年3月上旬頃。新型コロナウイルスの感染者が日本国内で確認された以降、コロナの感染者が増加の一途を辿り全く収まる気配がありません。テレビのワイドショーはコロナの危険性を伝えるだけでなく、私たちの感情を煽るようになり不安を掻き立てています。

除夜の鐘

開運

厄除け

祈禱

ゆつたりと落ち着いた
雰囲気
で
厄除けができます

1月1日から4日まで

●鳳仙寺ホームページ「桐生山」で検索

新型コロナウイルス対策として

- 【お参りの時には】
- 1、参拝日時の分散をお願い致します。
 - 2、建物入場時には、マスク着用をお願い致します。
 - 3、ソーシャルディスタンス(社会的距離)を取るようお願い致します。
 - 4、手の消毒をお願い致します。
 - 5、混雑時の入場制限致します。

- 【ご祈禱参加について】
- 1、祈禱に参加出来るのは、ご祈禱を受けるご本人のみとさせていただきます。(介助者が必要な方は同伴可)
 - 2、ご祈禱札一枚につき、一名のみの参加とさせていただきます。
 - 3、お茶、お菓子の接待は致しません。

- 4、11時～14時は大変混み合いますので、分散参拝をお勧め致します。
 - 5、本堂は冷えますので暖かい服装でお越し下さい。
- ※皆様には大変お不便をお掛け致しますが、ご理解・ご協力をよろしくお願い致します。



薬師如来様

からと言って、経済の循環を止めるにも限界があり規制とのジレンマに私たちはもがいています。様々な給付金やキャンペーンを打ち、経済や家計に配った未来の借金はどうなるか返していくのか。色々なことを考えると不安な気持ちになります。

感染症の歴史は、過去はどうだったのかと振り返ると、まず天然痘(てんねんとう)が紀元前のエジプトで流行し、6世紀には日本でも、15世紀にはアメリカで大流行をしてみせ、世界の人口が50年で八千万人から千万人に減少してしまいました。

こうして私たち人類の歴史を振り返ると、いつの時代も様々な未知のウイルス・細菌や病気の戦いでありました。平安時代には、様々な病から



厄病退散

私たちが守ってもらいたいという人々の願いから薬師如来様の信仰が広まっています。薬師如来様の右手は施無畏印(せむいいん・不安や恐怖心を取り除く)、左手は与願印(よがいん・望みを与える)に薬壺を持ちます。左手にある薬壺の

なことは、色々な親戚や仲間、友人、会社などでも人に会えない事です。大本山總持寺の江川辰三老師が良くおっしゃっていた「我逢人」(がほうじん)という言葉があります。我、人と逢う。人と逢うことで私たちは多くを学び、特別な出会い自分自身を大きく変える力を持っています。

一般墓地

緑の林に囲まれた落ち着いた雰囲気です。ゆつたりとした南向き。お車でお参りできます。

一区画 30万円より

参禅会

毎月一日(正月を除く)朝七時より八時頃まで坐禅を行っています。(会費無料)

